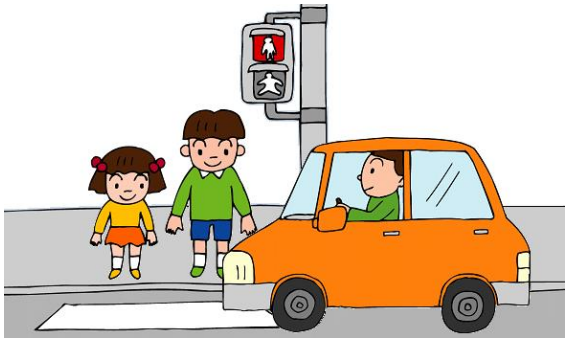
交通安全チェック

交通安全の「おやくそく」！まもれるかな？

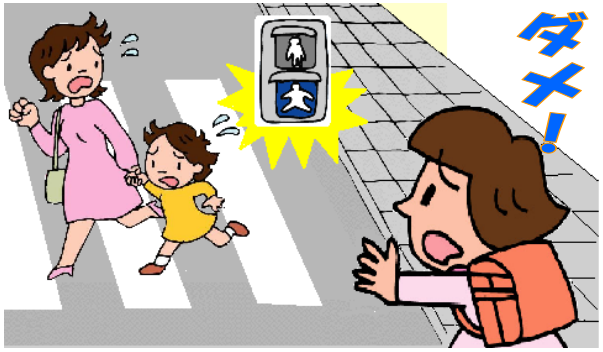
神奈川県警察

① あかしんごう



あかしんごうは わたらない

② チカチカしんごう



あおの チカチカは わたらない

③ おうだんほどう

いちど とまって てをあげて
みぎ ひだり みぎ

④ どうろであそばない

どうろでは あそばない

⑤ とびだし

とびだしを しない

⑥ ヘルメット

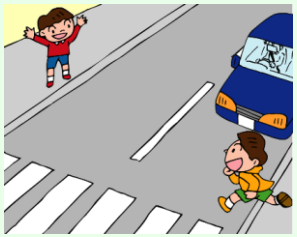
じてんしゃに のるときは
ヘルメットをかぶる

保護者の方へ…

子どもの特性を踏まえた指導をお願いします

神奈川県警察

特性① ひとつの事に 夢中になる



「飛び出し」がいけないことは理解していても、道路の向こうに友達や家族がいると、周りの状況には目もくれず、つい飛び出してしまいます。

道路を渡るときは、

横断歩道を渡る

信号を守る

手をあげて安全確認をする

等、安全な行動が身につくように、繰り返し教えましょう。

特性② 単純思考 抽象的な言葉では伝わらない

「手をあげる」「左右をみる」だけでは、子どもは理由まで理解できず、手の位置が低かったり、ただ漫然と首を振るだけになってしまいます。

「車の運転者に見えるように手をあげる」

「右や左から車が来ないか見る」

などと具体的に教えましょう。

「いつもの道路」もチェックをしてみましょう！

○ 子どもの目線で危険をチェック！

○ 危険回避方法を具体的に指導

○ 覚えるまで、何度も繰り返す

大人には見通しの良い腰高の植え込みやガードレールも、子どもの身長では死角になります。見通しのよい場所で、顔をしっかり左右に振って安全確認をさせましょう。

特性③ 大人に依存

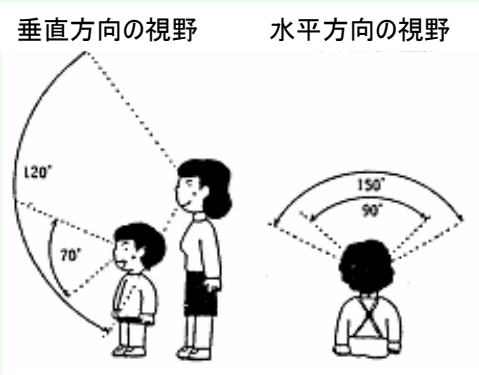
子どもは、良いことも悪いことも大人のマネをします。

また、「大人がいれば安心」と判断し、安全確認などを大人任せにしてしまいがちです。

子どもと一緒に安全確認を行うことはもちろんですが、周囲の大人が、日ごろから交通ルールをしっかり守り、

子どもの手本になりましょう。

特性④ 視界が狭い



子どもの視界は、大人の３分２程度といわれています。

安全確認をさせるときは、顔をしっかり振らせましょう。

交通安全チェック

指導者用

交通安全の「おやくそく」！まもれるかな？

神奈川県警察

① あかしんごう

赤信号の意味は「とまれ」です。

歩道上でも車道に近い場所は危ないので、道路から少し離れたところで待ちましょう。

車が来ていなくても、絶対に渡ってはいけません。青信号になってから渡りましょう。

② チカチカしんごう

青のチカチカ信号は、「もうすぐ赤になります」という合図です。絶対に渡らないでください。横断歩道を渡り始めて、もうすぐ反対側に着きそうな時に青のチカチカになったら、少し急いで渡りましょう。渡り始めてすぐに青のチカチカになったら、一度戻って、信号が次に青になるまで待ちましょう。

③ おうだんほどう

横断歩道を渡るときは、必ず一度止まって、運転手さんに「渡ります」の合図、右手を高くあげましょう。車が来ていないか、右・左・右をしっかり見てから渡ります。

渡っているときも、しっかりと右手はあげたまま、車がきていないか右・左を最後までよく見ながら渡りましょう。

④ どうろであそばない

道路では遊んではいけません。

遊びに夢中になると、車が近づいていることに気が付かず、車にひかれてしまうかもしれません。

また、駐車場でも遊んではいけません。いつ車が動き出すかわからないので危ないです。

公園や広場などで遊びましょう。

⑤ 飛び出し

「飛び出し」とは、右も左も見ないで、急に道路に出てしまうことを言います。小学校一年生の一番多い事故の原因です。車の運転手さんが気づいても、車は急には停まれません。

「飛び出しは危ない」ってわかっていても、忘れて飛び出ししてしまうお友達がたくさんいます。飛び出しをしないためにも、くり返し安全な渡り方を練習しておきましょう。

⑥ ヘルメット

自転車に乗っているとき、転んでしまったり、交通事故に遭って、頭をぶつけて大きな怪我をしたり、亡くなってしまう人がたくさんいます。自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶって頭を守りましょう。

ヘルメットをかぶったときは、あご紐をしっかりと締めましょう。